

|            |                       |
|------------|-----------------------|
| 開講元        | 文系教養科目                |
| 担当教員名      | <a href="#">猪原 健弘</a> |
| 授業形態       | 講義                    |
| 曜日・時限(講義室) | 月3-4(S011) 木3-4(S011) |
| クラス        | -                     |
| 科目コード      | LAH.T307              |
| 単位数        | 2                     |
| 開講年度       | H28年度                 |
| 開講クォーター    | 2Q                    |
| シラバス更新日    | H28年4月27日             |
| 使用言語       | 日本語                   |

シラバス

講義の概要とねらい

集団意思決定状況を数理的に扱うための会議の理論の基礎概念を、ディスカッション、グループワーク、講義、演習を通じて取り扱う。具体的には、「シンプルゲーム」、「会議」、「提携の強さ」、「会議のコア」、「整合的な提携」、「意思決定主体の許容範囲」、「許容ゲーム」、「提携の望ましさ」、「安定な提携と安定な代替案」、「仮想許容範囲」、「後悔のない代替案」、「会議のコアの特徴づけ」を検討する。

会議の理論の基礎概念を理解し、それを他者に伝える能力を涵養することが本講義のねらいである。

到達目標

本講義を履修することによって次の能力を修得する。

- 1) 集団意思決定状況を数理的に扱うための理論で使われる基礎概念の定義を他者に伝えることができる。
- 2) 集団意思決定状況を数理的に扱うための理論における分析方法を他者に伝えることができる。

キーワード

シンプルゲーム、会議、提携の強さ、会議のコア、整合的な提携、意思決定主体の許容範囲、許容ゲーム、提携の望ましさ、安定な提携と安定な代替案、仮想許容範囲、後悔のない代替案、会議のコアの特徴づけ

学生が身につける力

| 国際的教養力 | コミュニケーション力 | 専門力 | 課題設定力 | 実践力または解決力 |
|--------|------------|-----|-------|-----------|
| ✓      | ✓          | ✓   | -     | ✓         |

授業の進め方

1つの概念につき1回の授業を使う。

基本概念の定義と分析方法について、受講生が、はじめは1人で、次に他の受講生とペアで、さらに4人のグループで、最後に受講生全体で検討する。その後、取り上げた基本概念についての講義と演習を行う。授業の最後に、個人の考察や他の受講生の考え、講義、演習を通じて学んだことを、受講生それぞれが「サマリー・レポート」に書いて提出する。

授業計画・課題

|                                                                                                             | 授業計画              | 課題                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--------------------------|
| 第1回                                                                                                         | シンプルゲーム           | シンプルゲームの定義述べよ。           |
| 第2回                                                                                                         | 会議                | 会議の定義述べよ。                |
| 第3回                                                                                                         | 提携の強さ             | 提携の強さの定義述べよ。             |
| 第4回                                                                                                         | 会議のコア             | 会議のコアの定義述べよ。             |
| 第5回                                                                                                         | 整合的な提携            | 整合的な提携の定義述べよ。            |
| 第6回                                                                                                         | 意思決定主体の許容範囲と許容ゲーム | 意思決定主体の許容範囲と許容ゲームの定義述べよ。 |
| 第7回                                                                                                         | 提携の望ましさ           | 提携の望ましさの定義述べよ。           |
| 第8回                                                                                                         | 安定な提携と安定な代替案      | 安定な提携と安定な代替案の定義述べよ。      |
| 第9回                                                                                                         | 仮想許容範囲            | 仮想許容範囲の定義述べよ。            |
| 第10回                                                                                                        | 後悔のない代替案          | 後悔のない代替案の定義述べよ。          |
| 第11回                                                                                                        | 会議のコアの特徴づけ        | 会議のコアの特徴づけの内容と意味を述べよ。    |
| 第12回                                                                                                        | 許容会議の再定義          | 許容会議の再定義の内容と意味を述べよ。      |
| 第13回                                                                                                        | 会議のコアの一般化         | 会議のコアの一般化の内容と意味を述べよ。     |
| 第14回                                                                                                        | 代替案の安定性と無後悔性      | 代替案の安定性と無後悔性の定義を述べよ。     |
| 第15回                                                                                                        | 一般化されたコアの特徴づけ     | 一般化されたコアの特徴づけの内容と意味を述べよ。 |
| <b>教科書</b>                                                                                                  |                   |                          |
| 猪原健弘、「合理性と柔軟性－競争と社会の非合理戦略I」、勁草書房、2002年（1.2節、2.1節、7章、8章、9章）（ISBN-10: 4326502223、ISBN-13: 978-4326502226）     |                   |                          |
| <b>参考書、講義資料等</b>                                                                                            |                   |                          |
| 猪原健弘、「感情と認識－競争と社会の非合理戦略II」、勁草書房、2002年（ISBN-10: 4326502231、ISBN-13: 978-4326502233）。講義資料はOCW-ia授業中の配布により与える。 |                   |                          |
| <b>成績評価の基準及び方法</b>                                                                                          |                   |                          |
| 成績評価は、毎回の授業で提出する「サマリー・レポート」（合計50%）と期末試験（50%）に基づいて行う。                                                        |                   |                          |
| <b>関連する科目</b>                                                                                               |                   |                          |
| LAH.T108：意思決定論A<br>LAH.T208：意思決定論B<br>LAH.T107：社会モデリングA<br>LAH.T209：社会モデリングB<br>LAH.T308：社会モデリングC           |                   |                          |
| <b>履修の条件(知識・技能・履修済科目等)</b>                                                                                  |                   |                          |
| 意思決定問題への興味があることが望ましい。「意思決定論A」と「意思決定論B」を履修済みであること、または、同等の知識があることが望ましい。                                       |                   |                          |
| <b>連絡先（メール、電話番号）</b>                                                                                        |                   |                          |

猪原健弘（いのらはたけひろ）、inostaff@shs.ens.titech.ac.jp



## オフィスアワー

メールで事前予約すること。担当教員の居室は西9号館8階813号室。

## その他

当講義は理学の内容を含む。

### 講義スケジュール：

第1回 6/13

第2回 6/16

第3回 6/20

第4回 6/23

第5回 6/27

第6回 6/30

第7回 7/4

第8回 7/7

第9回 7/11

第10回 7/14

第11回 7/18（祝）

第12回 7/21

第13回 7/25

第14回 7/28

第15回 8/1

期末試験 8/8